



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 時澤 元一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 山口 恭正 (TEL) 078-681-4801
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	15,756	5.3	1,467	26.4	1,561	28.2	1,135	26.5
2018年3月期	14,963	2.7	1,160	55.2	1,217	48.3	898	57.3

(注) 包括利益 2019年3月期 1,061百万円 (17.6%) 2018年3月期 902百万円 (11.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	139.26	—	6.3	7.1	9.3
2018年3月期	114.82	—	5.3	6.0	7.8

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	22,742	18,481	81.3	2,266.57
2018年3月期	21,190	17,778	83.9	2,180.39

(参考) 自己資本 2019年3月期 18,481百万円 2018年3月期 17,778百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,300	△272	△282	3,440
2018年3月期	1,177	△2,232	943	2,700

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	16.00	—	26.00	42.00	342	36.6	1.9
2019年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00	309	27.3	1.7
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		27.9	

(注) 2018年3月期 期末配当の内訳 普通配当16円00銭 記念配当10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,240	0.4	790	△14.9	840	△14.8	600	△14.8	73.58
通 期	16,570	5.2	1,540	5.0	1,630	4.4	1,170	3.0	143.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期	8,154,140株	2018年3月期	8,154,140株
2019年3月期	102株	2018年3月期	101株
2019年3月期	8,154,038株	2018年3月期	7,820,722株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復傾向が続いておりますが、米国の通商政策に伴う貿易摩擦の影響などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループといたしましては、研究開発をさらに進めるとともに海外市場の開拓に積極的に取り組み、高付加価値製品の市場展開に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高15,756百万円（前年比5.3%増）、営業利益1,467百万円（前年比26.4%増）、経常利益1,561百万円（前年比28.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,135百万円（前年比26.5%増）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

<金属表面処理剤及び機器等>

当セグメントが対応する電子部品業界は、期前半は、車載、スマートフォン関連及び移動通信システムに関わる電子部品メーカーの生産動向が堅調に推移いたしました。期後半以降は、スマートフォン関連市場におけるハイエンドスマートフォンの低迷、半導体メモリー関連の減産の影響を受け、急速な減産、在庫調整の状況にあります。

無電解錫めっき液は、4K、有機ELの大型テレビ向け需要が堅調であったことに加え、スマートフォンの狭小ベゼル化によるCOF採用も寄与いたしました。また、ファンアウト技術や銅ピラー化に対応したウエハー用銅めっき液は、台湾での量産及び韓国での増産により堅調に推移いたしました。一方、ウエハーバンブめっき液は、海外主要ユーザーの減産、価格協力などにより前期を下回る結果となりました。

また、機器等の管理装置は、プリント基板、タッチパネル向け及び海外市場において大口需要があり、期前半を中心に好調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、7,819百万円（前年比2.9%増）となりました。

<電子材料>

機能材料加工品は、ハイエンドスマートフォンの販売不振の影響等により、半導体や有機EL製造装置関連の設備投資が停滞し、エンブレ製品の販売が不振となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、532百万円（前年比4.8%減）となりました。

<自動車用化学製品等>

昨年度より引き続き、自動車用エアコンフィルターの定期交換作業に合わせてエアコン洗浄を同時に施工するビジネスを提案し、取り組む新規カーディーラーが増加したことにより、エアコン洗浄剤は好調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、2,572百万円（前年比4.6%増）となりました。

<工業薬品>

当セグメントが対応する鉄鋼業界は、建築、自動車関連の鉄鋼需要が底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、鉄鋼市場向け基礎薬剤である苛性ソーダは、納入数量の増加や販売単価アップがあり、好調に推移いたしました。また、アルミインゴットもロシアからの輸入制限の影響により当社の納入数量が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、4,831百万円（前年比11.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ1,201百万円増加し9,855百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加361百万円、たな卸資産の増加269百万円及び有価証券の増加511百万円等があります。固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ351百万円増加し12,887百万円となりました。主な増減は、有形固定資産の増加835百万円、無形固定資産の減少11百万円、投資有価証券の減少304百万円等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ850百万円増加し4,261百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ

702百万円増加し18,481百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より739百万円増加し、3,440百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益が前年同期に比べ366百万円増加し1,569百万円となり、減価償却費337百万円、たな卸資産の増加271百万円及び法人税等の支払い342百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは1,300百万円(前年同期1,177百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有価証券の取得による支出700百万円、有価証券の売却及び償還による収入445百万円及び有形固定資産の取得による支出626百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△272百万円(前年同期△2,232百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払い358百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは△282百万円(前年同期943百万円)となりました。

(4) 今後の見通し

次期見通しにつきましては、米中間の貿易摩擦の影響やEU離脱問題など海外を中心としたリスクの高まりにより企業業績に陰りが見られるなど、先行き不透明な状況が予想されます。

当社グループのメインセグメントである<金属表面処理剤及び機器等>が対応する電子部品業界においては、期前半は、スマートフォン関連を中心に在庫調整、減産が引き続く予想されますが、期後半以降は、不透明感はあるものの、車載関連及び次世代移動通信システム(5G)関連の電子部品メーカーの生産動向が回復基調になるものと予想されます。また、COF市場は、4Kや有機ELの大型テレビの増産が見込まれ、加えて、スマートフォンの狭小ベゼル化によりCOF採用が進むものと予想されます。

当社グループといたしましては、<金属表面処理剤及び機器等>について、ウエハーパンプめっき薬品においては、高速化やその周辺プロセス薬品である銅ピラーおよびファンアウト技術に対応した銅めっき液を開発し、台湾、韓国を中心に高付加価値薬品の採用を促進してまいります。また、TABやCOFに対応した無電解錫めっき液では、台湾、韓国メーカーへの迅速な技術対応により他社の介入を阻止するとともに、中国新規メーカーの獲得に努めてまいります。

また、<自動車用化学製品等>においては、エアコン洗浄を同時に施工するビジネスのカーディーターでの定着を引き続き推進し、エアコン洗浄剤、コンパウンドの売上拡大を図るとともに、コーティング剤などを次期事業の柱に育成してまいります。

これらの結果、連結業績予想につきましては、売上高16,570百万円(前年比5.2%増)、営業利益1,540百万円(前年比5.0%増)、経常利益1,630百万円(前年比4.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,170百万円(前年比3.0%増)を見込んでおります。

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社は会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,478,291	3,840,059
受取手形及び売掛金	3,397,931	3,452,785
電子記録債権	293,164	298,253
有価証券	419,348	930,800
商品及び製品	466,112	604,029
仕掛品	72,538	118,113
原材料及び貯蔵品	485,233	571,607
その他	40,994	39,635
流動資産合計	8,653,612	9,855,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,662,740	4,704,879
減価償却累計額	△2,784,765	△2,875,220
建物及び構築物（純額）	1,877,975	1,829,658
機械装置及び運搬具	1,940,624	1,967,414
減価償却累計額	△1,683,228	△1,745,368
機械装置及び運搬具（純額）	257,396	222,045
土地	1,012,443	1,027,409
リース資産	232,854	230,787
減価償却累計額	△73,522	△94,728
リース資産（純額）	159,331	136,059
建設仮勘定	31,450	942,009
その他	940,363	1,004,063
減価償却累計額	△797,975	△844,308
その他（純額）	142,387	159,755
有形固定資産合計	3,480,985	4,316,937
無形固定資産	65,081	53,783
投資その他の資産		
投資有価証券	7,014,039	6,709,923
退職給付に係る資産	352,863	405,847
その他	1,626,939	1,404,985
貸倒引当金	△3,462	△3,875
投資その他の資産合計	8,990,379	8,516,880
固定資産合計	12,536,446	12,887,601
資産合計	21,190,059	22,742,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,477,367	1,667,084
電子記録債務	591,101	604,575
資産除去債務	—	38,512
1年内返済予定の長期借入金	8,000	32,000
未払法人税等	207,015	280,670
賞与引当金	255,000	263,000
役員賞与引当金	44,800	44,800
その他	439,135	911,943
流動負債合計	3,022,420	3,842,585
固定負債		
長期借入金	—	52,000
繰延税金負債	35,702	54,932
その他	352,965	311,688
固定負債合計	388,667	418,620
負債合計	3,411,088	4,261,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980,874	1,980,874
資本剰余金	2,293,384	2,293,384
利益剰余金	12,797,470	13,574,259
自己株式	△159	△161
株主資本合計	17,071,569	17,848,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715,885	645,125
為替換算調整勘定	△8,484	△11,802
その他の包括利益累計額合計	707,401	633,323
純資産合計	17,778,970	18,481,679
負債純資産合計	21,190,059	22,742,885

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	14,963,495	15,756,700
売上原価	10,213,708	10,691,117
売上総利益	4,749,786	5,065,582
販売費及び一般管理費	3,588,938	3,598,541
営業利益	1,160,847	1,467,041
営業外収益		
受取利息	24,251	23,310
受取配当金	41,731	50,338
受取賃貸料	19,227	18,661
その他	19,163	11,985
営業外収益合計	104,373	104,295
営業外費用		
支払利息	1,386	1,136
売上割引	2,232	2,073
為替差損	9,868	—
株式交付費	11,419	—
コミットメントフィー	10,500	2,757
有価証券償還損	8,196	11
賃貸費用	2,040	2,040
その他	2,034	1,866
営業外費用合計	47,678	9,886
経常利益	1,217,543	1,561,451
特別利益		
固定資産売却益	—	69
投資有価証券売却益	—	24,468
その他	—	378
特別利益合計	—	24,915
特別損失		
固定資産売却損	—	101
固定資産除却損	6,312	8,937
減損損失	8,434	—
災害による損失	—	8,169
特別損失合計	14,746	17,208
税金等調整前当期純利益	1,202,796	1,569,157
法人税、住民税及び事業税	321,345	413,761
法人税等調整額	△16,553	19,828
法人税等合計	304,791	433,590
当期純利益	898,005	1,135,566
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	898,005	1,135,566

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	898,005	1,135,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,345	△70,760
為替換算調整勘定	2,108	△3,317
その他の包括利益合計	4,453	△74,078
包括利益	902,458	1,061,488
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	902,458	1,061,488
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,447,280	1,741,909	12,147,594	△145,738	15,191,046
当期変動額					
新株の発行	533,594	533,594			1,067,188
剰余金の配当			△248,129		△248,129
親会社株主に帰属する当期純利益			898,005		898,005
自己株式の取得				△72	△72
自己株式の処分		17,880		145,651	163,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	533,594	551,474	649,875	145,578	1,880,522
当期末残高	1,980,874	2,293,384	12,797,470	△159	17,071,569

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	713,540	△10,592	702,947	15,893,994
当期変動額				
新株の発行				1,067,188
剰余金の配当				△248,129
親会社株主に帰属する当期純利益				898,005
自己株式の取得				△72
自己株式の処分				163,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,345	2,108	4,453	4,453
当期変動額合計	2,345	2,108	4,453	1,884,976
当期末残高	715,885	△8,484	707,401	17,778,970

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,980,874	2,293,384	12,797,470	△159	17,071,569
当期変動額					
剰余金の配当			△358,777		△358,777
親会社株主に帰属する当期純利益			1,135,566		1,135,566
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	776,789	△2	776,786
当期末残高	1,980,874	2,293,384	13,574,259	△161	17,848,356

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	715,885	△8,484	707,401	17,778,970
当期変動額				
剰余金の配当				△358,777
親会社株主に帰属する当期純利益				1,135,566
自己株式の取得				△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△70,760	△3,317	△74,078	△74,078
当期変動額合計	△70,760	△3,317	△74,078	702,708
当期末残高	645,125	△11,802	633,323	18,481,679

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,202,796	1,569,157
減価償却費	375,891	337,237
減損損失	8,434	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	412
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71,000	8,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,600	—
受取利息及び受取配当金	△66,806	△74,773
支払利息	1,386	1,136
株式交付費	11,419	—
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	8,196	△24,456
為替差損益 (△は益)	100	1,488
固定資産売却損益 (△は益)	—	32
固定資産除却損	4,617	4,337
売上債権の増減額 (△は増加)	26,031	△62,021
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△236,589	△271,117
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98,278	207,499
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	13,659	1,463
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	144,673	△48,707
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	20,199	△79,322
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△29,279	△2,500
小計	1,451,836	1,567,866
利息及び配当金の受取額	66,636	75,671
利息の支払額	△1,380	△1,130
法人税等の支払額	△339,157	△342,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,177,934	1,300,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△711,000	△162,000
定期預金の払戻による収入	400,000	786,000
有価証券の取得による支出	△2,513,086	△700,727
有価証券の売却及び償還による収入	900,000	445,287
有形固定資産の取得による支出	△278,400	△626,829
有形固定資産の売却による収入	—	104
無形固定資産の取得による支出	△29,708	△14,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,232,195	△272,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	△350,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△24,000	△24,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,232	△378
株式の発行による収入	1,055,768	—
自己株式の取得による支出	△72	△2
自己株式の処分による収入	163,531	—
配当金の支払額	△248,050	△358,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	943,944	△282,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,381	△5,747
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,934	739,767
現金及び現金同等物の期首残高	2,808,225	2,700,291
現金及び現金同等物の期末残高	2,700,291	3,440,059

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社、東京支店及び石原化美(上海)商貿有限公司に営業部門を置き、国内及び海外の需要先の業界と需要先の生産・販売の動向を包括した戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは対応する業界別にセグメントした「金属表面処理剤及び機器等」、「電子材料」、「自動車用化学製品等」及び「工業薬品」の4つを報告セグメントとしております。

「金属表面処理剤及び機器等」は、錫及び錫合金めっき液、化成処理液自動管理装置等の製造販売を行っております。「電子材料」は、マシナブルセラミックス及びエンジニアリングプラスチックの加工販売、炭素繊維強化プラスチックの販売を行っております。「自動車用化学製品等」は、自動車用化学製品、溶接用スパッター付着防止剤等の製造販売を行っております。「工業薬品」は、主に工業薬品の仕入販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないため、記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	金属表面処理剤及び機器等	電子材料	自動車用化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	7,596,821	559,273	2,458,451	4,348,948	14,963,495	—	14,963,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,596,821	559,273	2,458,451	4,348,948	14,963,495	—	14,963,495
セグメント利益又は損失 (△)	1,065,290	△309,944	572,308	154,943	1,482,597	△321,750	1,160,847
その他の項目							
減価償却費	223,505	32,461	43,181	5,206	304,354	56,848	361,203

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△321,750千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	金属表面処 理剤及び機 器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	7,819,842	532,496	2,572,646	4,831,714	15,756,700	—	15,756,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,819,842	532,496	2,572,646	4,831,714	15,756,700	—	15,756,700
セグメント利益又は損失 (△)	1,189,841	△251,444	618,799	191,631	1,748,827	△281,786	1,467,041
その他の項目							
減価償却費	209,877	26,327	41,672	5,133	283,011	52,202	335,213

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△281,786千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,180.39円	2,266.57円
1株当たり当期純利益金額	114.82円	139.26円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	898,005	1,135,566
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	898,005	1,135,566
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,820	8,154

(重要な後発事象)

該当事項はありません。